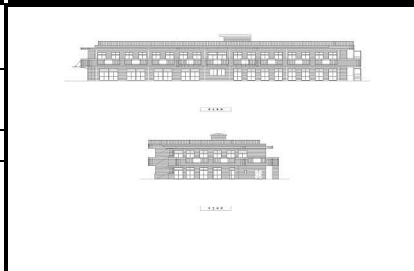


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	進和職業センター	階数	地上2F
建設地	平塚市土屋字堀切2967番1外9筆	構造	RC造
用途地域	用途地域指定無し	平均居住人員	60人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年3月 予定	評価の実施日	2014年2月3日
敷地面積	13,300 m ²	作成者	株式会社 安江設計研究所
建築面積	1,460 m ²	確認日	2014年2月3日
延床面積	2,506 m ²	確認者	株式会社 安江設計研究所



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆☆

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆☆

標準計算
建設 増築 解体 運用 オフサイト オフサイト

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 2.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項	
総合	その他 0
Q1 室内環境 内装材は、全面的にF を全面的に採用している。 全館禁煙である。	Q2 サービス性能 外壁はタイル仕上げで、補修必要間隔40年である。厨房排気ダクト外部露出はSUS製を使用している。配管材は、給水管はVLP・排水管はVPを使用している。非常用発電設備を設置している。電話設備・LAN等の通信手段を導入している。
LR1 エネルギー ライトコートを採用している。 ERR=11.9%である。	LR2 資源・マテリアル LGS・OAフロアを採用している。
	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地内の既存緑地を保存をしている。 植栽により、良好な景観を形成している。
	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ は、92%である。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される